

| 1事例                                                                                                                                             | 2事例                                                                                                          |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 「働きたい」気持ちがあるので、就労支援B型の利用を検討してみてもどうか。働き始めてみて、体の動きの現状を把握することにもつながる。                                                                               | 認知症ケアパス「思いや希望」シートを活用し、かかりつけ医にまず相談。（続けたい活動を見出す。家族と共有する）                                                       |
| 男性向けの健康居酒屋の企画が別地区である。調理に興味があるので、調理と交流が内容のこの企画に参加してみてもどうか。                                                                                       | 教会への礼拝を再開している事実は、本人にとって大切な習慣。この機会を本人が本人自身に向き合うことに活用できないか、神父さんに教えを交えて助言してもらう。                                 |
| ガスを使わないので、電磁調理器の導入を検討してはどうか。できることの幅が広がる。                                                                                                        | 本人が親しみある家族（子ども、孫）から、気遣う言葉と共に受診や内服をすすめる。                                                                      |
| シルバー人材センターに相談に行き、どういった依頼があるのか、本人にできそうな依頼があればそれを目標にリハビリを行う。                                                                                      | 中断している内服（本人にとってのチャレンジ）は気になる。「チャレンジの振り返りをしよう」「一旦評価して次のチャレンジを見つけよう」と受診につなげる働きかけ。                               |
| スマホが使える強みを活かして、交流場面の写真撮影・加工など新たな楽しみになる。                                                                                                         | 地域で男性の料理教室あり。食事会の開催もある。                                                                                      |
| スマホを使って家計管理（アプリを使って）をしてみても。                                                                                                                     | 簡易的な認知症機能検査で数値が見える化して納得につなげる。                                                                                |
| サロンが活発な地域。交流の機会として活用しては。                                                                                                                        | スマホの機能で連絡とれる（GPSで居場所がわかる）環境は必要か。                                                                             |
| 就労の希望ではシルバー人材センターではなく、お助け隊の有償ボラの活動に参加し少しではあるが対価を得て人との交流に結びついていけたらいいなと感じた。                                                                       | 内服治療中だが、薬の中断について、関係者は気づいていたのだろうか？また気づいたのなら、対策をどうしたのかと思った。デイサービスでの日常や、携帯の買い替え時、食べこぼし等で異変に気づけると良い。             |
| 状態が安定しているので、激しい運動を伴う活動は避け、人が多く集まる所に参加するのが良いと考える。                                                                                                | 認知症を自覚するという目的でアプローチする人をお孫さんに変えても良いのかなと思った。                                                                   |
| 本人は頑張り屋さんのように見えるので、健康を維持していき次のステップに進んでいっていったらと感じた                                                                                               | 本人が病院受診を拒否するのはなぜなのか？本人が今の生活を続けていく為の最優先事項を家族と共に共有し納得することが一番だと感じた。                                             |
| 薬の飲み忘れがあるということで、朝もしくは夕にまとめて飲むよう図るのも良いかもしれない。薬の管理の環境を整える。                                                                                        | 自我が強めで、薬を再開するときはお薬カレンダーへの配薬は自分でやってもらおうと良い。                                                                   |
| 2年前に越してきて地域で馴染みは少ないだろうが、色々な人に繋いでもらいながら、交流を深めていけたらと思う。                                                                                           |                                                                                                              |
| 居酒屋で皿洗いのバイトや、料理教室に参加する。                                                                                                                         | デイサービスに行こうと思った動機はあるのだろうか？                                                                                    |
| 何が1番の望みなのか、ケアマさんが、まずは 本人が望んでいる事を聞き出し、短期目標を立て、本人が成果を感じ取れる方がいいのではないかと感じた。                                                                         | 訪問看護で体調確認や緊急時の対応、BPSDの症状に対する対応。コーディネーターの定期的な訪問。                                                              |
| お酒を飲むのが好きなので、飲んでもいいが、お酒の量の目安をお伝えすることで、無理なく飲酒していけるのではないかと感じた。                                                                                    | 娘さんの負担軽減のためにも、専門医の受診の他にもかかりつけ医やオレンジドクター、認知症初期集中支援チームなどの支援者を頼る方法もあると思う。                                       |
| 高脂血症、脳梗塞、心房細動、慢性心不全があるので、健康に良い食事をとるよう、健康状態・飲酒の面でも栄養指導を行ってもら。男性の料理教室を食推さんがされている所もある。野菜等バランスよく摂る、自炊できる食事指導など、再発や悪化予防に取り組んでほしい。                    | 糖尿病について、どの程度の血糖コントロールで推移しているかわからないが、ベースに糖尿病のある方は特に尿路感染症になりやすいので、抗生剤内服はされているが、発熱や尿性状・尿量について日頃からしっかり観察していくとよい。 |
| 月に1、2回興味関心チェックシートで「してみたい」と回答した項目を実際にやってみるという日を設けてみると、本人さんの精神的・身体的にもいい方向に向かっていくのではないかとと思う。そうすることで日々楽しみが増え、生活する気力や生きがいに繋がり本人さんの笑顔がさらに増えていくと考えられる。 |                                                                                                              |

|                                                                                                                                                                             |                                                                                                    |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 地域にサロンや同好会があっても、本人がそういうものがあるということやどんな人が参加しているかが分からないと、行こうと思ったりすることは難しいと思うので、簡単な紹介や説明ができればいいと思う。→全ての人に説明していくのは難しいと思うので、自分の病名や症状、希望などをチェックしたらお薦めのものが出るようなアプリなどが出来たら良いのではないかな。 |                                                                                                    |
| シルバー人材センターに登録して出来そうな仕事を見つけてから考える。                                                                                                                                           | 大切にしている日課や習慣がある方なので、受診の際はご本人さんの思いをしっかり聞き、支援者と繋がればいいと思う。                                            |
|                                                                                                                                                                             | 信仰の状況もあるが、生活が破綻する前に、優先的なことは何かを探り、ケアしていく方が本人のためにもなると感じ、まずは病院受診を最優先でその中で専門医への受診の紹介をしていく方がスムーズではないかな。 |